

令和4年度外部評価 事業評価シート

No	5	事業名	地震防災施設緊急整備事業
所属	上下水道部水道工務課		事業開始年度 平成16年度
事業内容	浄配水場から病院や避難所などの重要な給水施設につながる配水幹線を「重要管路」と位置付け、法定耐用年数を経過した管路から耐震性の高い水道管へ更新します。 (計画延長 L=21,291m)		
目的	防災・減災を目指し、災害時においても断水とならないよう、また、管路が被災した場合においても早期の復旧ができるよう計画的に耐震化を図ります。		
根拠法令等	水道法第5条、第22条の4 生活基盤施設耐震化等交付金取扱要領(厚労省)		
総合計画	5Kの分類:環境(4都市基盤 住環境)		
関連するSDGsゴール	6安全な水とトイレを世界中に、9産業と技術革新の基盤をつくろう、11住み続けられるまちづくりを、13気候変動に具体的な対策を		
関連事業	老朽管布設替事業		

【実施状況】

活動実績	令和3年度	重要管路1,197mの耐震化整備を行いました。 事業費 411,210,800円(うち国庫補助額 87,400,000円)					
		名称	延長(m)	事業費(円)	うち国庫補助額(円)		
		重要管路整備工事その1 ※	274	79,497,000	17,150,000		
		重要管路整備工事その2	105	82,357,000	16,925,000		
		重要管路整備工事その3 ※	295	108,575,500	26,000,000		
		重要管路整備工事その4	332	101,830,300	19,125,000		
活動実績	令和3年度	重要管路整備工事その5	191	38,951,000	8,200,000		
		計	1,197	411,210,800	87,400,000		
		※は令和3年度から令和4年度に繰り越したため、延長等は令和4年度の整備実績に計上します。					
		令和2年度	重要管路1,152mの耐震化整備を行いました。 事業費 330,858,000円(うち国庫補助額 65,100,000円)				
			令和元年度	重要管路429mの耐震化整備を行いました。 事業費 179,256,000円(うち国庫補助額 27,000,000円)			
				令和3年度より 資材費等の高騰に伴い工事設計価格が大幅に増加しましたが、工法等の見直しにより非補助区間の一部を国庫補助対象とすることで、計画どおり整備を進めることができました。			

別紙2

【事業費】

年間事業費等の推移	No	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	①	事業費(決算額) (千円)	179,256	330,858	411,211
		工事請負金額 (千円)	179,256	330,858	411,211
財源内訳	②	人件費(従事職員数×6,300千円 令和3年度からは6,600千円) 従事職員数 (人)	6,300	12,600	13,200
			1.0	2.0	2.0
	③	総事業費(①+②) (千円)	185,556	343,458	424,411
		一般財源 (千円)	26,751	52,202	68,535
		国庫補助金 (千円)	27,000	65,100	87,400
		特定財源(水道企業会計) (千円)	131,805	226,156	268,476
財源合計 (千円)			185,556	343,458	424,411

【活動指標】

重要管路整備工事の事業額 (うち国庫補助額)	令和3年度 (実績)	令和4年度 (目標)	令和5年度 (目標)
	411,211千円 (87,400千円)	349,800千円 (78,775千円)	121,800千円 (28,925千円)
	整備延長 628m	1,622m	485m

【成果指標】

重要管路の整備率 (整備済延長/計画延長)×100	令和3年度 (実績)	令和4年度 (目標)	令和5年度 (目標)
	50.8%	58.4%	60.7%

【課題】

課題	活動実績・事業成果等を踏まえて記入
	いつ発生してもおかしくない南海トラフ巨大地震に備え、本事業は令和14年度までに完了する計画となっています。水道事業は独立採算の企業経営が原則ですが、 ①人口減少等による料金収入が減少傾向にあること、②国庫補助の採択基準から今後外れるおそれがあること、③昨今の物価高騰による工事設計価格が上昇していることなどの不確定要素により、現計画どおり事業実施するための必要な財源確保が難しくなっていることが課題です。

【論点】

外部評価での論点	災害時におけるライフラインの機能維持と早期復旧の取り組みは、生命や財産を守ることに加え、地域の持続的な発展に不可欠です。また、安価な公共料金の価格設定は都市の魅力のひとつであると考えています。 重要管路の整備について、本事業の財源の不足分に対し一時的に起債の借入れを増やすことで、現計画どおり令和14年までに事業完了できるよう進めていきたいと考えますがどうか。
----------	---

令和4年度外部評価 事業評価シート

【参考比較】

経年の状況等	重要管路整備の進捗状況			
		整備済延長 (m)	未整備延長 (m)	整備率 (%)
	R3年度末	10,817	10,474	50.8
	R2年度末	10,190	11,101	47.9
	R1年度末	7,818	13,473	36.7
	H30年度末	7,520	13,771	35.3
	H29年度末	6,138	15,153	28.8

他市の 実施状況等	基幹管路の耐震化状況(「令和2年度愛知県の水道」より)			
	事業体名	総延長 (m)	耐震管延長 (m)	耐震化率 (%)
	安城市	56,822	22,260	39.2
	刈谷市	62,467	40,375	64.6
	碧南市	17,256	11,097	64.3
	高浜市	5,822	1,296	22.3
	知立市	13,020	3,586	27.5
	碧海5市計	155,387	78,614	50.6
	愛知県計 (上水道事業)	3,315,454	1,114,216	33.6
	※基幹管路 = 導水管 + 配水幹線 を指します。 (φ 300mm以上)			
	※他事業体は基幹管路のデータのみの公表となります。			
	基幹管路の耐震化状況(安城市水道統計より)			
	H30	R1	R2	R3
	34.8%	36.1%	39.2%	39.6%